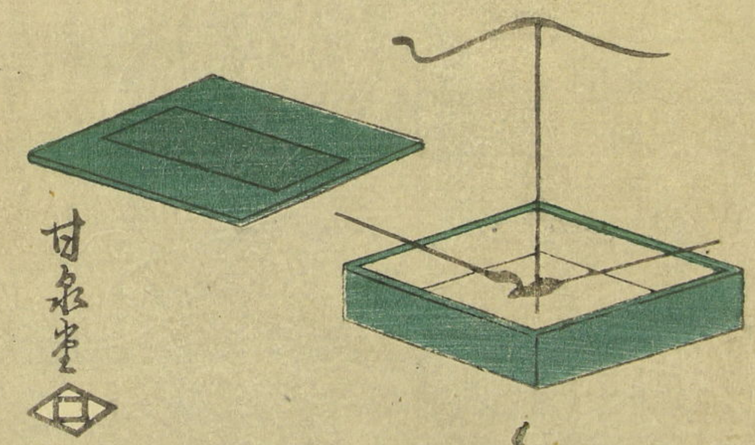
へ13
3811
40

門 へ13
號 3811
卷 40

兒雷也

卅六編 上冊



兒雷也豪傑譚卅三十六編序

漢土の杜元劉い左傳の癖あり王福時い子と譽癖ゝの至和朝ゟ時平公ゟ笑癖ゝ至慈鎮和尚のごときゝ癖ゝ哥乃癖ありて已ゝ遅筆乃せと詠たまひ〳〵も癖あつて書房ゝ催促の繁よりけ熟思ゝ一季ゟ三十種五十種と著作本吏い凡庸あゝぞ鬼神欠天狗狐妖怪欠注連ゝ飾ゝ橙ゝ正月東西と鬻ある年の市ゝ立年ゟ〳〵の市迄延つゝけ考通ゝ腹匠ていの十種乗〻爭賞東無ゝ〻ゝ〻ゝ〻

侠客夢蝶兵衛

千代花

今市全右工門

美濃屋三勝

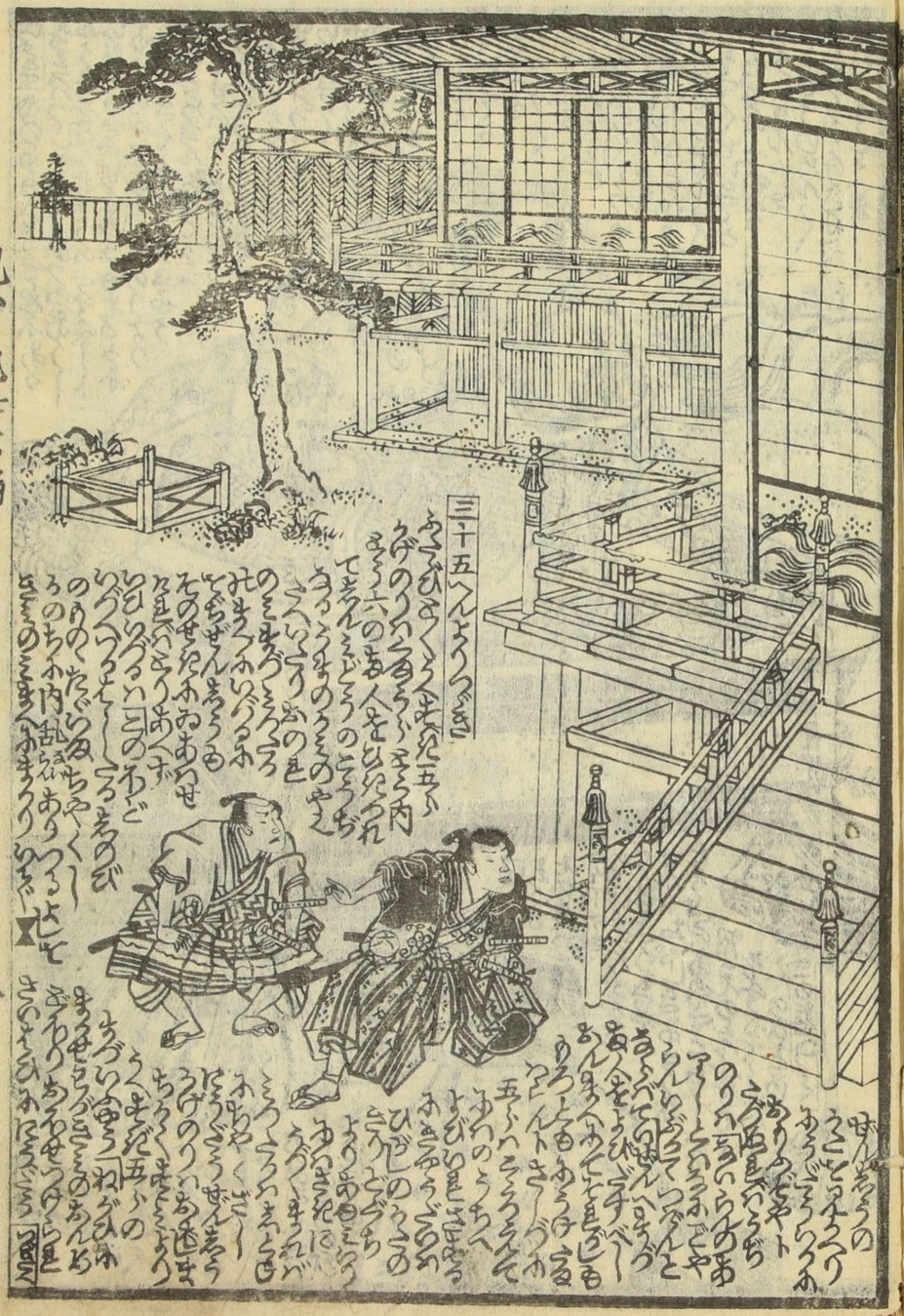
物屋や
あくべと年ち
わりゐるの

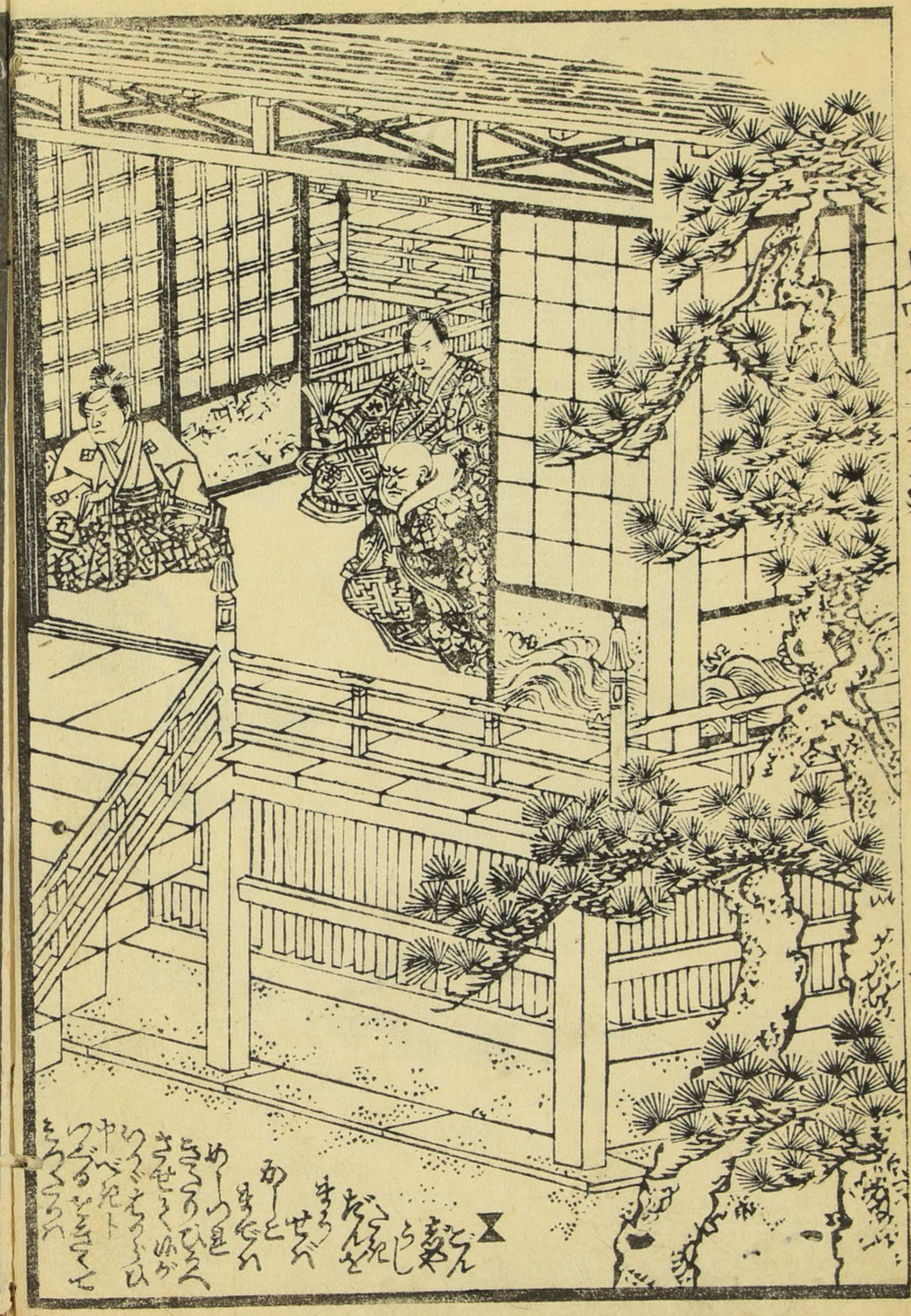
蛞蝓仙人

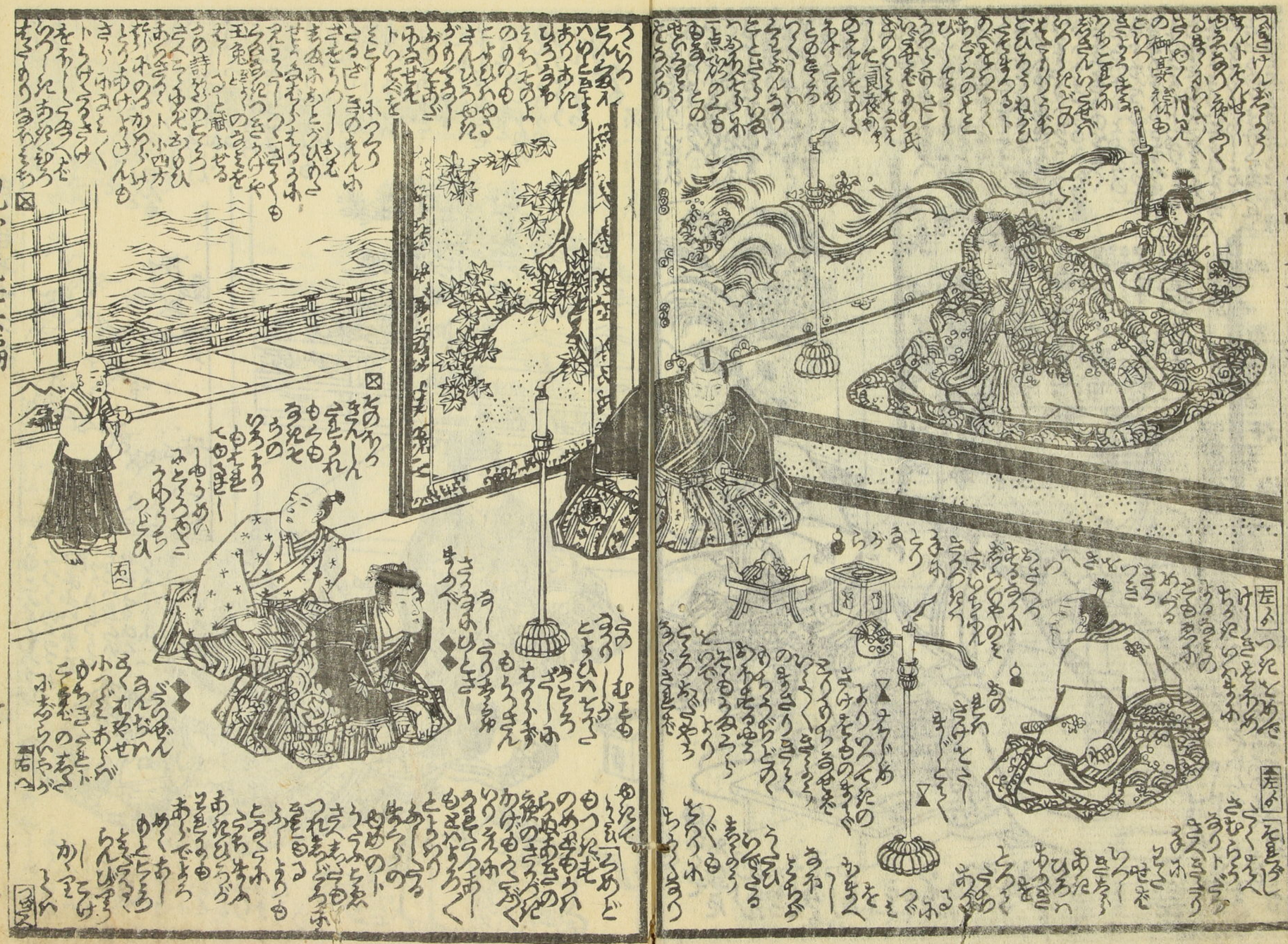
蛞蝓丸乃短劍
大蛇と退治せ
兒雷也

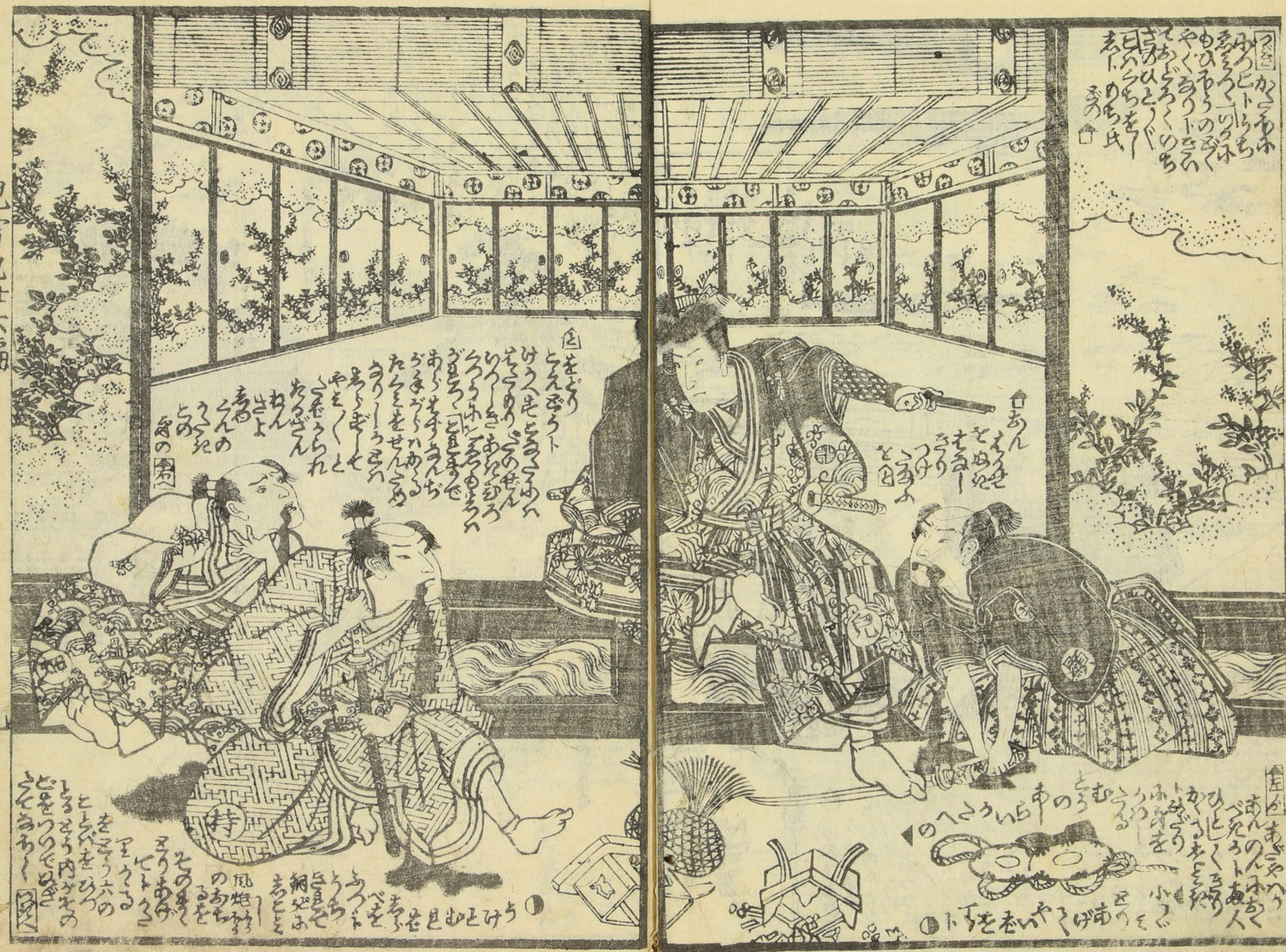
男婦綱手

高砂男見之助義住









左へ
右へ

兒雷也九十二編

月下楼のあもとらうくもく

三の巻へつづく

○浦冨士兄弟
鱗形の太刀を以て
兒雷也が術を挫んとする変
あとの後の巻の趣向あらら同画もろか
永くつづくとひて僅か其畠を出ず

種員作 國芳画

御理亭種久作
一素齋國貞画
花清貞事
沙呂波
文庫
初編二編合巻
巻偽一冊別と有り

御下亭種員校
一陽齋豊國助
梅素亭玄魚補

仮名反古一休草紙 十編 十二編 御亭種員作 一雄齋國輝画

小女郎蜘蛛草堤 三編 大尾 由亭馬琴作 一勇齋國芳画

照天松操月鹿毛 五編 六編 大尾 琴魚亭柳枝作 一雄齋國輝画

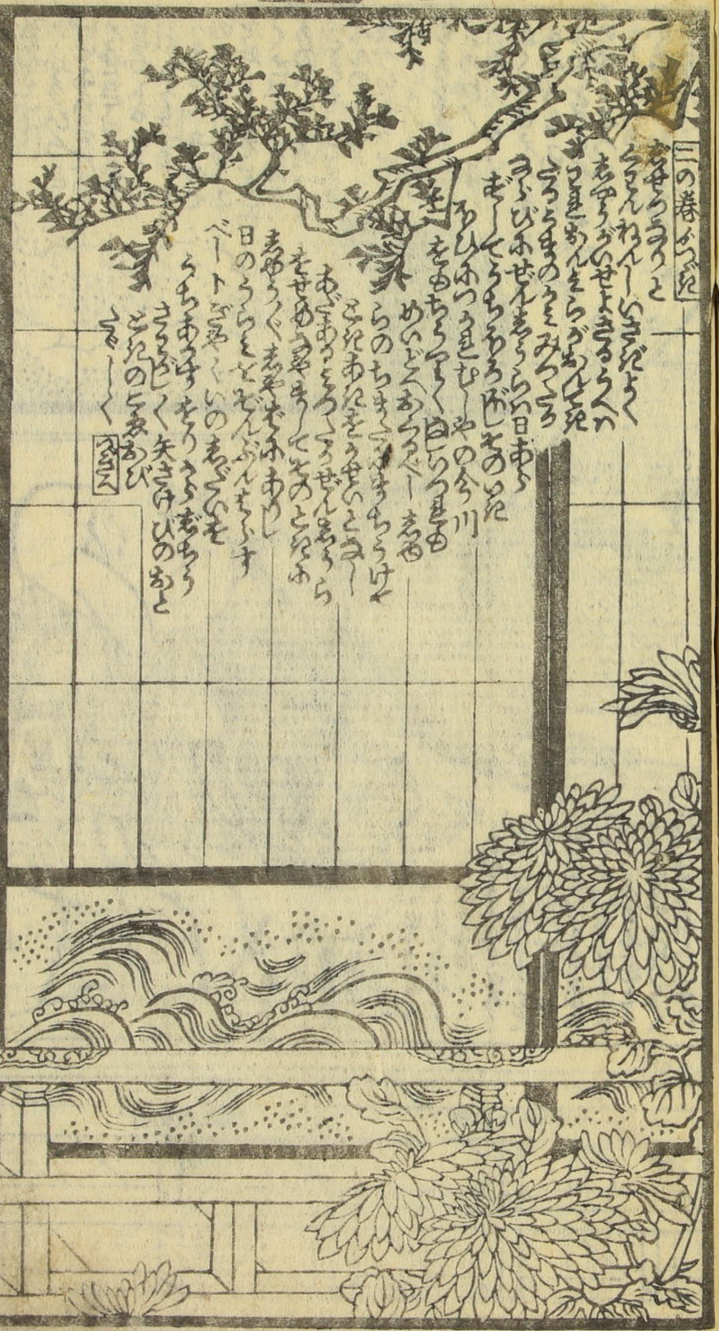
風俗浅間嶽 六編 七編 種員校合 種久抄録 國貞画

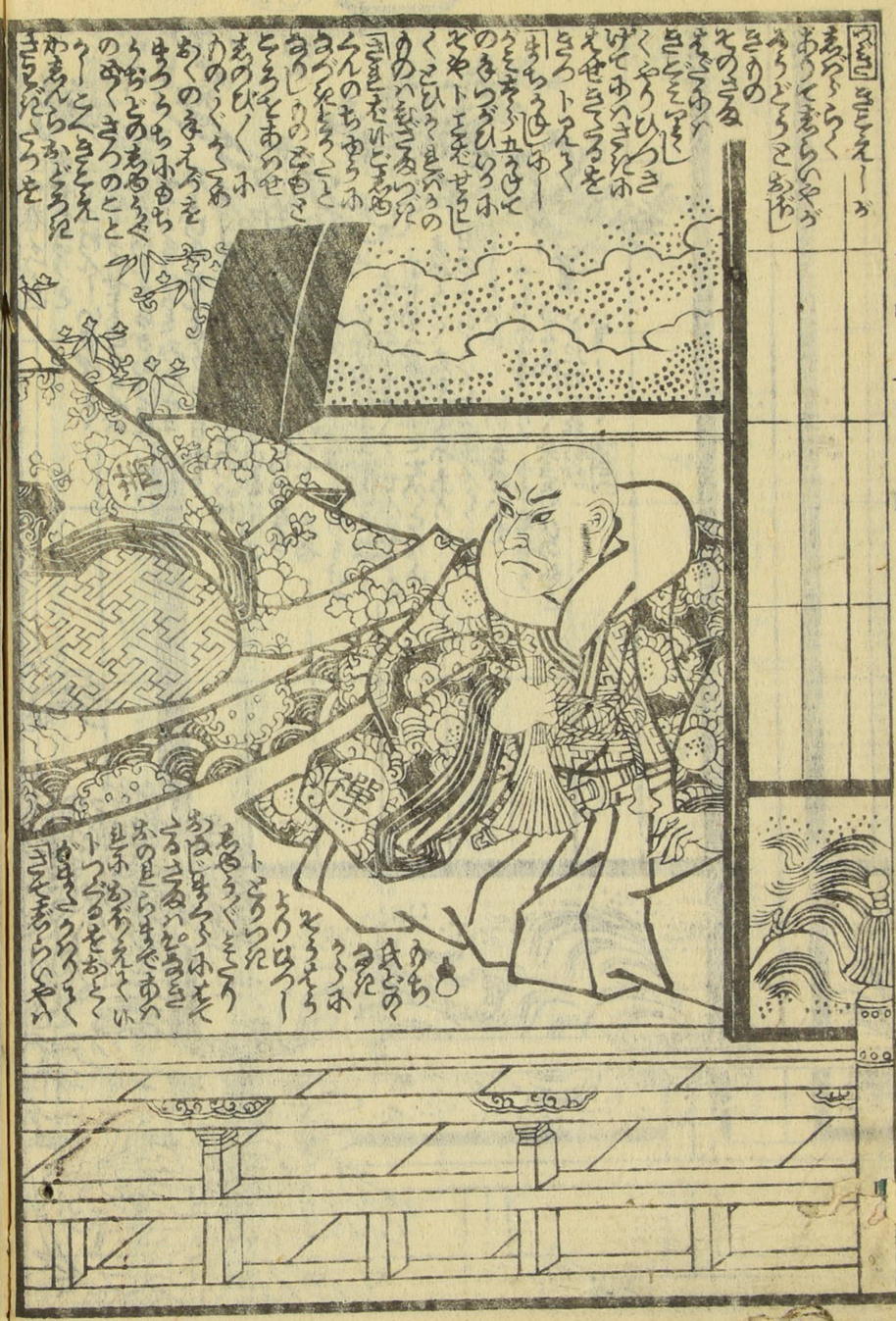
柳下亭種員作
一勇齋國芳画
仆題画五國志

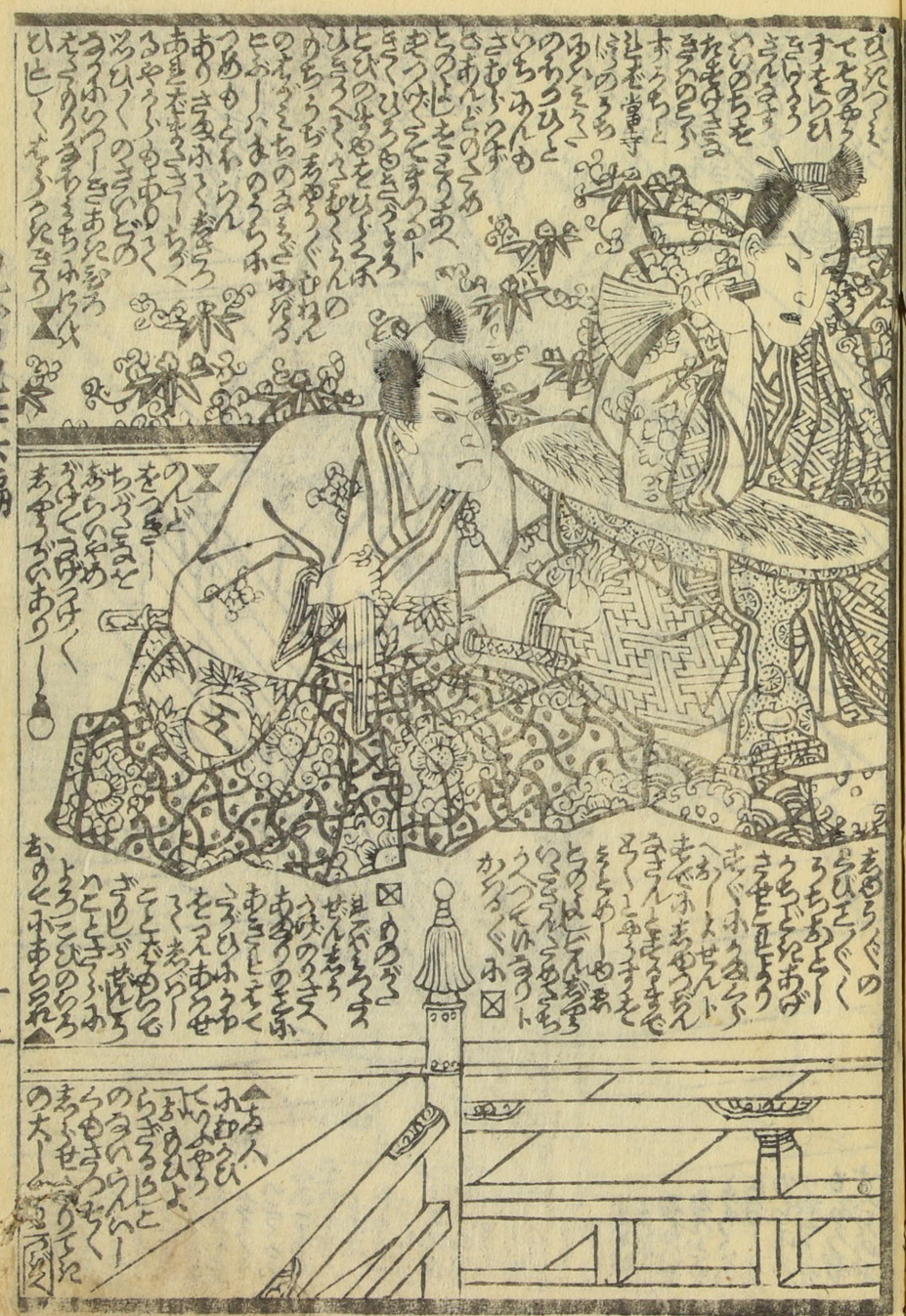
兒雷也井六篇下冊

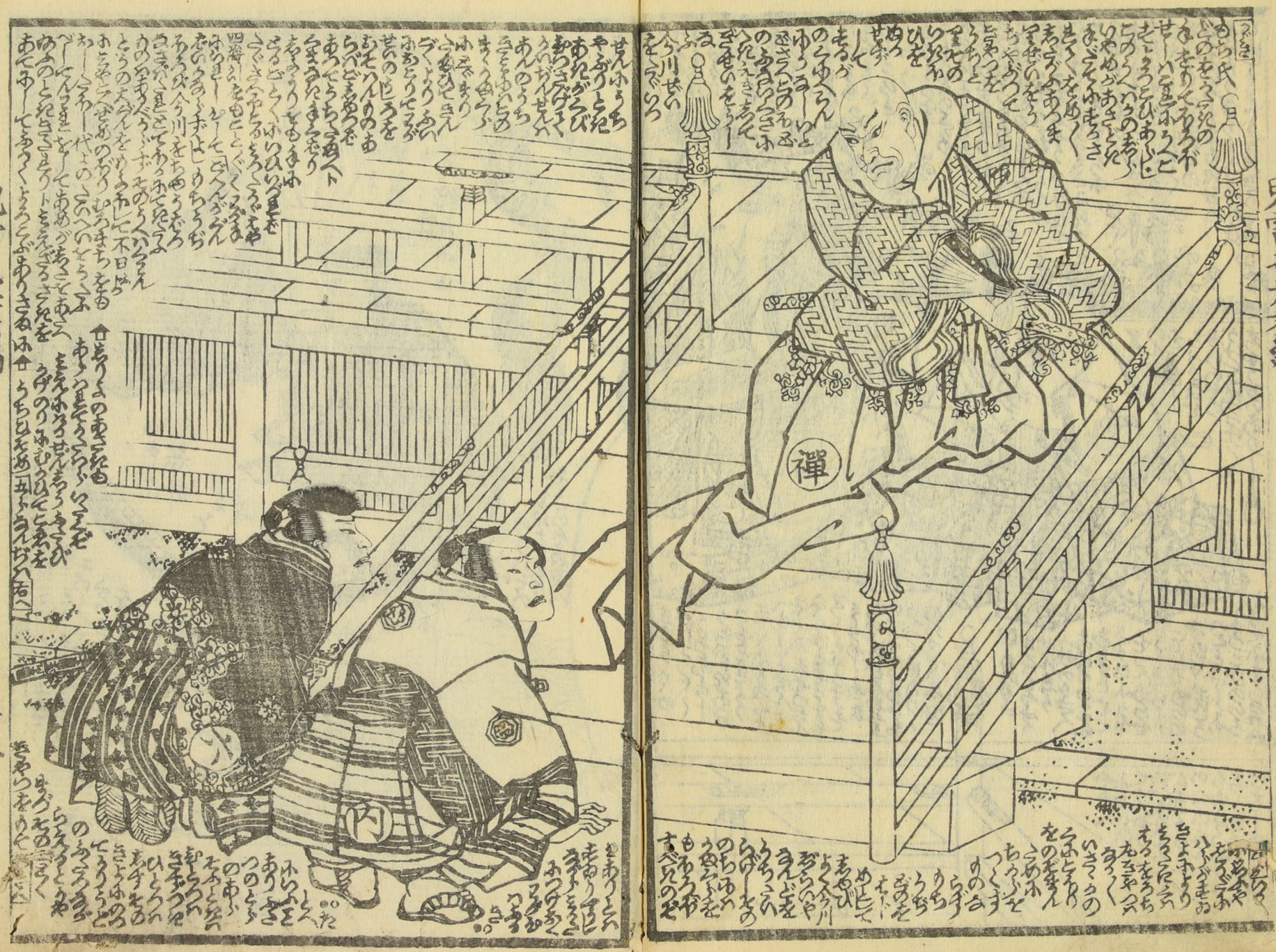
柳亭種彦作
一勇斎国貞画

吉冨堂







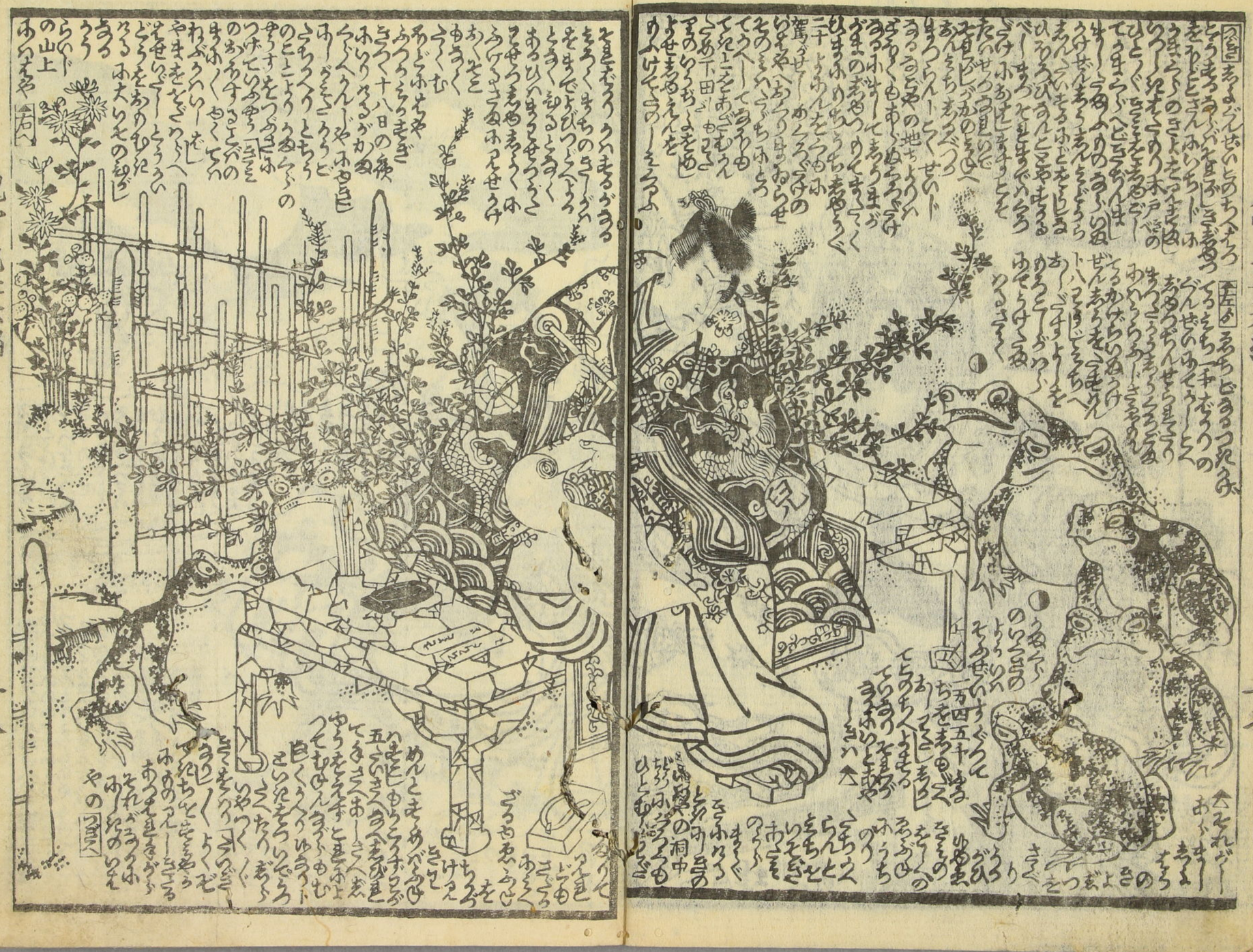

禅
内

景憲
大蛇丸
悪計談

見雷也
今川時秋
義戦を談

今川時秋
再艤艦を
艤し
持氏公を
助勢し
す

西上太郎五郎鎌倉へ行の途中月影照通の陣を観る



女郎花五色二代記 九編 一雄斎芳虎画

新編金瓶梅 曲亭馬琴作 一陽斎豊國画

黄金水大尽蛮 七編 八編 為永春水作 歌川國貞画

一猛斎芳虎画 三十六歌仙詠色双六

柳下亭種員作 兒雷也豪傑譚 一壽斎國貞画 冊一編 冊二編 冊三編

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板